



体育大会



発行所
兵庫県立姫路工業高等学校
姫路市伊伝居 600 番地 1
(079) 284-0111
編集発行
新聞部
編集責任者 野村 美今

6月12日（水）晴天の下、行われた体育大会。徒競走やリレー、部活動行進、綱引き、大縄跳び、生徒会種目や砂袋を持ち上げ耐える「POWER OF HIMEKO」などたくさんの種目がある中で、やはり一番印象に残っているのは学年演技だ。

1年生の演技は集団行動。全員で大きな声をそろえ、切れのある動き。入学間もないはずの1年生の出来の良さに皆感心して見入っていた。



▶1学年演舞

2年生は集団行動に加え、旗を使用した演技。前半の集団行動は、1年生の演技をさらにグレードアップしたキレの良さで、列が交差する際は目を離すことなく凝視していった。全体が一斉に静止したりリターンをする様子からは、驚きと爽快感を味わうことができた。その後全員が旗を持ち、きびきびとした動きで振る。静寂なグラウンドで音楽にのせて振る旗の音は、努力の成果が細部にまで感じられる、さらに近くで見たいと思わせるものだった。



体育大会

日時：6月12日（水）
場所：本校グラウンド

3年生は、自分たちで考えたダンスを披露。西野カナの「Clap Clap!」やONE OK ROCKの「Wasted Nights」の曲にのせて踊った。全員が着用している服は濃い青色でまとめられ、大トリとしても最高学年としても、それまでの練習の成果を大いに発揮したパフォーマンスであった。演技する側であつた私だが、観客として周りを見ても、練習以上の最高の学年演技だったと感じている。演技中の手拍子には、観客も一緒になって手拍子をし、会場全体の一帯感が骨身に染み、最後まで気負いしすぎず、潑刺とダンスを楽しむことができた。

▼3学年演舞



▶2学年演舞



各学年の人文字もそれぞれに個性があり、努力の賜物だった。来年もそれぞれの学年が、より一層素晴らしい

パフォーマンスを披露してくれることを期待している。今年初めて導入されたラビットレースもなかなかの盛り上がりを見せてくれた。大縄跳び同様、連日朝からそれぞれの科で練習を行っていた。次回からも開催していただきたい。



▶パワーオブ姫工 最後の二人

生徒会種目では二人三脚で3年生の何組みかはスタート位置からかなり離れた場所から開始したり、網くぐりで才能を開花したりする者や後ろ向きに進む者がいたり、借り物競争のマネアックなお題に苦戦し、後れを取っていたクラスが最後の最後まで大いに盛り上がった体育大会であった。



◀リレーゴール

テーマ 3C 北川尊琉（高丘中）
ポスター 3D 大谷亜美（網干中）

私は、放送部にも兼部で入っている。体育大会では放送部として、綱引きと学年対抗リレーの放送を担当した。綱引きはトーナメント制であつたため、勝敗の状況に応じて放送しなければならず大変だったが、ミスなく放送することができた。学年対抗リレーでは、実況を担当した。放送部での初めての実況で緊張したが、やってみるととても楽しかった。レースの盛り上がりに対して、自分自身も興奮して実況してしまつたら、後で友人に聞くと、観客席も盛り上がりつてたようだったので安心した。今回の体育大会は、放送部初の大仕事だったのでうまくいくか不安だったが、無事成功させることができて良かった。放送部では、体育大会などのイベントでの放送やお昼の放送などの活動をしている。放送することに興味がある人は、ぜひ見に来てほしい。（1D 武本）



▶リレー爆走

高校就職 に関して

7月1日、朝から企業の方がたくさん学校に來られて、進路指導室前の廊下が賑わった。これは多くの企業の方が求人票を持って学校にきてくれたためであるが、なぜ7月1日に持つてくる人が集中するのだろうか。そこには、就職を斡旋するハローワークの存在も関係しているようだが、そのこのところをわかりやすく説明していきたい。

インターネットで企業の求人欄を見てみると、高校生でもエントリーできそうな感じがする。しかし実際には高校生がエントリーしても、そのまま面接や試験を受けて就職することはできない。なぜなら、企業と行政（ハローワーク）と学校との間には「就職協定」が結ばれており、高校生はそのルールを守って就職しなければならないからだ。

これは高校生が学業に専念して、安心して就職活動を行うことができるように決められたもので、大学生や専門学校生の就職活動とは基本的にここが違うのである。それでは、高校生の就職協定とは、具体的にどのようなものなのであろうか。

一人一社制

高校生は、就職活動において、一度に一社しか採用試験を受けることができない。（※県によって違う）これが一番大きなポイントである。

求人には「指定校求人」と「公開求人」の2つがあり「公開求人」は誰でも受けられるが倍率が高いか低いか受けてみるまでわからないという求人。もう1つが、7月1日に企業の方がそれぞれの学校に持つて

いく「指定校求人」で、これは倍率が3倍以上にならないよう、ハローワークによつて、求人票の出せる数が企業は制限されている。本校のようにたくさんの求人票が集まる学校に求人票を出すということは企業側にもリスクがあり、それでも本校の生徒がほしいという思いを持って企業は求人票を持つてきてくれているのである。

また、そのように求人票を制限したり、実際とは違う嘘の求人票を出していないか監督しているのが、ハローワークである。

ハローワークは、企業が高校生に求人票を出す際には、きちんとした申請認可手続きを求めたり、就職試験日を統一で決めるなど、高校生が学業に専念しながら就職活動できるよう働きかけている。

姫工の流れ

本校では、就職希望生徒は、7月1日以降に企業の人が持つてきた求人票を、担任の先生と相談しながら検討し、7月末までにおおよそ希望企業を決める。そして8月初旬の3者面談を通して希望企業を最終的に決定、その後の校内選考会を経て、学校として企業の受験者を決定する。採用されるためには、企業の求める人材であることがとても重要なことであるが、それには進路指導部や担任の先生とよく相談し、企業の状況も把握しておくなければならない。

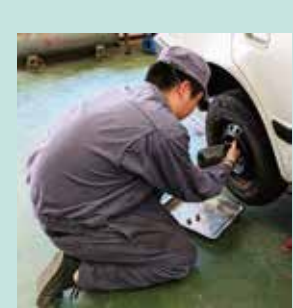
9月5日の応募受付開始日までには、調査書の依頼や履歴書などの準備、応募前見学など、忙しい日々が続く。2学期の始業式の次の日から3日間は、午前中授業にして教員総出で、午後3年生の面接指導を行っている。書類を送れば、試験日が返送されてきて、就職試験の解禁日である9月16日以降に採用試験を受けることになる。



7月31日から8月1日に群馬県で行われる若年者ものづくり競技大会出場する3M2川口翔さん（安室中）に話を聞いた。

競技は決められた時間内に自動車の故障を見つけたら、点検を行う内容。川口さんは2年生の時も高校生ものづくり競技大会に出場しており、今回は以前の大会とは違い、社会人や専門学校生が相手なので、レベルが上がっていると語っていた。

今大会では初めての競技内容が多く、新しく覚えることが多い。種目の中ではエンジンの故障を見つけて内容が難しく、全力を出して頑張りたいと語った。また、若年者ものづくり競技大会は、普段から自動車をさわっている時間の長い社会人達と競うことになるので緊張を感じているようだ。大会については「相手は強いですが、自分のこれまで



3M2 川口 翔さん

でやってきたことを出し切つてやります」と強い意気込みを見せてくれた。大会では練習の成果を十分に発揮してほしい。（1D 大西）

若年者 ものづくり競技 自動車整備 全国大会出場

技能五輪全国大会出場

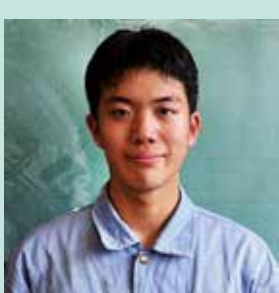
11月16日、18日に行われる第62回全国技能五輪電気溶接職種に出場することが決定した林穂薫さん（上ヶ原中）にインタビューをした。

今年2月に開催された県大会の結果で見事全国大会に出場決定した。出場者五人のうち、高校生は林さん一人だったそう。

課題は、アルミ・ステンレス・軟鋼のそれぞれの箱の溶接、テストピースの溶接など、スピードや正確さを評価される。

日々の練習について林さんに聞くと、本番で実力を最大限に発揮できるように試行錯誤して取り組んでいるとの答えが返ってきた。

なぜ出場したいのかという質問には、幼い頃から溶接工の父の姿に憧れ、姫工で技能五輪があるのを知り出場したいと思ったという。加えて、卒業した先輩から技能五輪



2W 林 穂薫さん

の話聞いた影響もあるのだそう。インタビューの最後に、支えてくれる人たちも含めて、全国大会は自分の高校生活の中で最大の

イベントだから、思い残すことがないように良い結果を残せるよう努力したい、と大会への意気込みを語ってくれた。大会も含め、これからのますますの活躍を期待している。（3D 野村）

ごーごーしんぶん

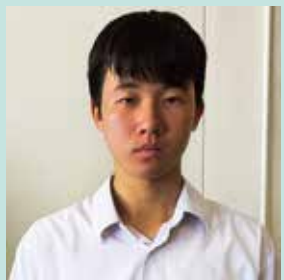
虹へ！GOGO！

7月9日（火）大雨が降った後、急に晴れてきたので、我々新聞部員は2号棟の外階段を駆け上がった。4階まで上がるに虹、二重の虹が現れたのである。すぐに消えなかった状態になったが、私たちが普段見ている虹（主虹）の外側に「副虹」と呼ばれる虹が出ていた。副虹は主虹より暗く、少し幅広く、さらに色の順番が主虹の反対になっている。主虹の色の順番は、外側から内側へ赤、紫、副虹の色の順番は、内側から外側へ赤、紫。調べてみると、副虹の他にも、主虹の内側にさらにもう一つ二つと連続して虹が見える過剰虹、池などの水面で反射した太陽の光によつて出来る反射虹など、珍しい二重の



虹が現れる場合もあるそう。雨上がりに光が差してきたら、太陽と反対側に虹が出てくるかもしれない。そしてその虹の外側にもよく目をこらして見ると、うっすら二重の虹が出てくるかもしれないから。（1D 大西）

若年者 ものづくり競技 電気工事 全国大会出場



3E 三木 駿佑さん



▲練習風景

7月31日と8月1日の2日間にGメッセ群馬で開催される若年者ものづくり競技大会電気工事職種に出場する3E三木駿佑さん（曹富小中）に話を聞いた。競技内容は、建物の電気設備と同じような電気配線を時間内にどれだけ正確に仕上げられるかというものである。この競技では課題が毎年全く違うものになるそう。今年の問題もやったことがない作業が多く練習が大変で、大会まで時間との勝負であると話してくれた。

意気込みを聞くと「去年は緊張で力を出し切れなかったのが、今年は焦らず本番で落ち着いて練習通りにできるようにしたい」と真剣な顔で答えてくれたが、インタビュー後は笑顔で頑張りますと言ってくれた。

プレッシャーに負けず、是非とも練習の成果を出し切ってほしい。（1D 武本）

この度新聞部に入部しました1Dの大西紅々です。私が新聞部に入ったきっかけは、もともと新聞部が気になっていたからもありですが、話を聞きに行つたときに、顧問の先生が、新聞部の活動内容を嬉しそうに話してくださり、楽しそうだなと思つたこともありです。最近、我が家にひよこが沢山産まれました。毎年卵から育てていて、卵から孵らない子もいるので、無事に生まれてきてくれてよかったです。新聞部の作業をする時には、イラストレーターなどパソコンの使い方を学ぶことができて、とても勉強にもなりました。思っていた以上に楽しいです。今後も一新聞部員として頑張ろうと思ひます。（1D 大西）

沈黙工

新入部員の武本彩叶です。私はIllustratorやPhotoshopの練習をするという目的があったのと、色々などころに取材に行つたり記事を書いたりすることに興味を持ちました。めい入部しました。趣味は絵を描くことで、高校生になつて長年出来ていなかった読書もまた始めました。しかし私は飽き性なので、長い物語もよほどの興味が無い限り、途中で読み進めるのを止めてしまふことがあります。すらすら読めるような本を探しております。おすすめのものがあつたら、誰か紹介して下さい。この記事を書いてみて自分の文章力がまだまだであると感じました。記事を書くことを通して文章に触れながら精進していきたいです。これから新聞部としてたくさん姫工のニュースを皆さんに届けていけるよう頑張つていこうと思ひます。（1D 武本）